

# 大型連休が多く業種に影響を与える

## 4月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

### 概況

10連休の影響が、製造業と非製造業で明暗が分かれる結果となる。製造業では、繊維・同製品で営業日が減少したほか、機械・金属において設備稼働率が低下するなど負の側面がみられる。非製造業では、各地の商店街でイベントが開催され、温泉旅館の入込客数が増加するといった好影響が発生している。

製造業	食料品		パンは、時期的な要因に加え、イベントが多く開催されたことで売上増加。菓子は、売上・収益ともに前年並み、「令和」関連の菓子を販売。製麺は、天候が不安定なこともあり荷動きが若干鈍化。酒造は、普通酒の落ち込みが大きく売上・収益ともに減少。食肉は、と畜頭数・枝肉カット数ともに好調に推移し売上増加。
	繊維・同製品		桐生織物は、婦人服地は小ロット・短納期化傾向、輸出向けは低調、和装織物は浴衣など夏物関連に動きあり。伊勢崎織物は、状況は厳しいままだが、広巾織物は売上好調で新規開拓に注力。ニットは、冬物の生産を始め設備稼働率上昇。繊維製品は、企業間でバラツキはあるが、全体として業況悪化。
	窯業・土石製品		コンクリートブロックは、売上・収益ともに前年並みを維持。生コンは、好調な地域があるものの、前月に輪をかけて都市部の出荷量が減少。碎石は、八ッ場ダム関係の特需が概ね終了したほか、西毛・東毛・沼田地域で業況が悪化し全体的に厳しさがみられる。砂利は、需要が減少傾向にあり、売上減少となる。
	機械・金属		鍍金は、自動車部品関係が持ち直しつつあるほか、金属材料関係に明るさがみられる。電機関連は、製造原価の上昇傾向に加え、競合により販売価格が下降しており厳しい状況。自動車部品は、大型連休の影響で設備稼働率が低下し業況悪化。SUBARU関連は、立ち直りをみせてきているが、連休の影響もあり売上減少。
	その他の製造業		木材は、依然原木出荷が低迷している状況。紙加工品は、大型連休前の動きもさほどなく、業況感にバラツキはあるものの全体的に低調に推移。ゴム製品は、SUBARU向け製品の生産が滞っており、売上・収益ともに減少。印刷は、原紙価格高騰が課題、統一地方選や元号変更などの業界への影響を懸念。
非製造業	卸売業		高崎卸団地は、売上・収益ともに前年並みに推移。前橋卸団地は、連休前から上昇傾向にある燃料価格の今後への影響を懸念。太田卸団地は、原材料価格高騰によるコスト増や人手不足で業況悪化。農産物卸は、相場が例年並みの落ち着きをみせ、順調な取引となる。水産物卸は、売上・収益ともに減少し、厳しい状況。
	小売業		家電小売は、商品全体の動き悪く売上減少。中古車オークションは、ほぼ前年並みとなるが、成約単価低下により売上が若干減少。燃料小売は、仕入・販売価格が上昇したが、需要低迷により売上微減。生花小売は、入学・入社や歓送迎会などの需要で売上前年並み。商店街は、大型連休に合わせて各種イベントを開催。
	サービス業		温泉旅館は、大型連休の前半が絡む下旬を中心に入込客数が増加し、多くの施設で好調となる。桐生・みどり市域における不動産取引は変化もなく低調な推移となるが、一部地域においてバイパスの整備等の影響で新築住宅工事が比較的好調に行われている。自動車整備・建築設計は、売上・収益ともに前年並みに推移。
	建設業		建設工事は、売上・収益ともに不変。塗装工事は、仕事量の減少に伴い売上減少。解体工事は、公共施設のブロック塀解体や工場改修などの引き合いがある。鉄構は、工場稼働率は高水準で推移しているが、引き続きボルト納期に改善みられず。電気工事は、売電契約の期限が近いこともあり、太陽光関係の工事が減少傾向。
	運輸業		全体的に、原油価格高騰の影響が表出してきた様子がかうかがえる。一部では、売上は増加したにも関わらず収益が減少しているところもあり、厳しい状況となっている。野菜関係は、前年並みに推移。小口配送は、自動車部品関係が順調なほか、五月人形の配送量が増加し売上増加。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

### 県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 102.9(前月比4.7%)「県統計課・3月」
- 住宅着工戸数 844戸(前年同月比▲11.8%)「県建築住宅課・3月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.36倍・有効1.74倍「群馬労働局・3月」
- 大型小売店販売額 216億円(前年同月比5.8%)「経済産業省・3月」
- 消費者物価指数(全国) 101.5(前年同月比+0.5%)「総務省統計局・3月」  
(鉱工業生産指数は27年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)